

第160回 新潟市都市計画審議会

議案第1号

新潟都市計画公園の変更 (新潟市決定)

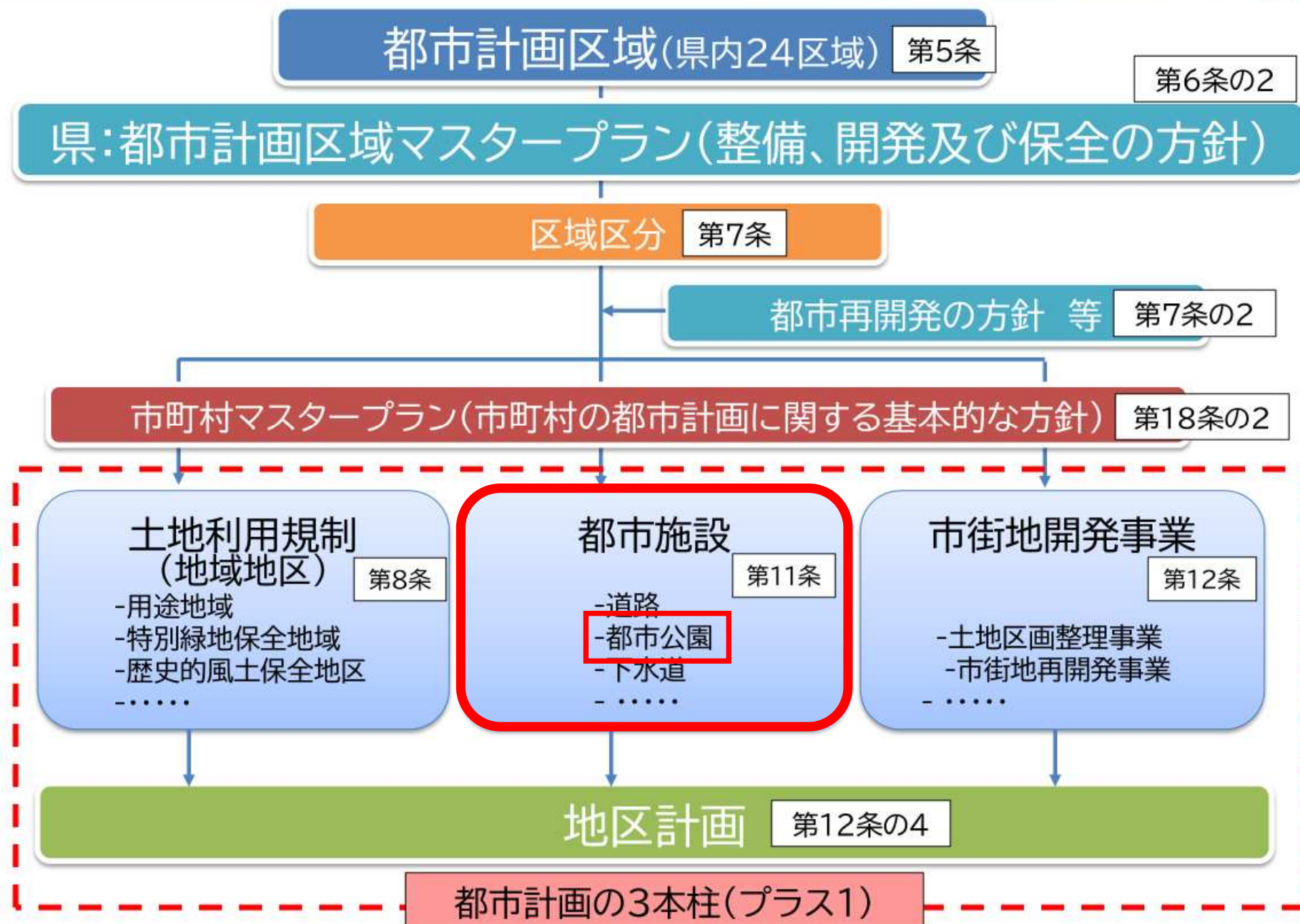
【5・5・51 花と遺跡のふるさと公園】

新潟都市計画公園の変更（新潟市決定）

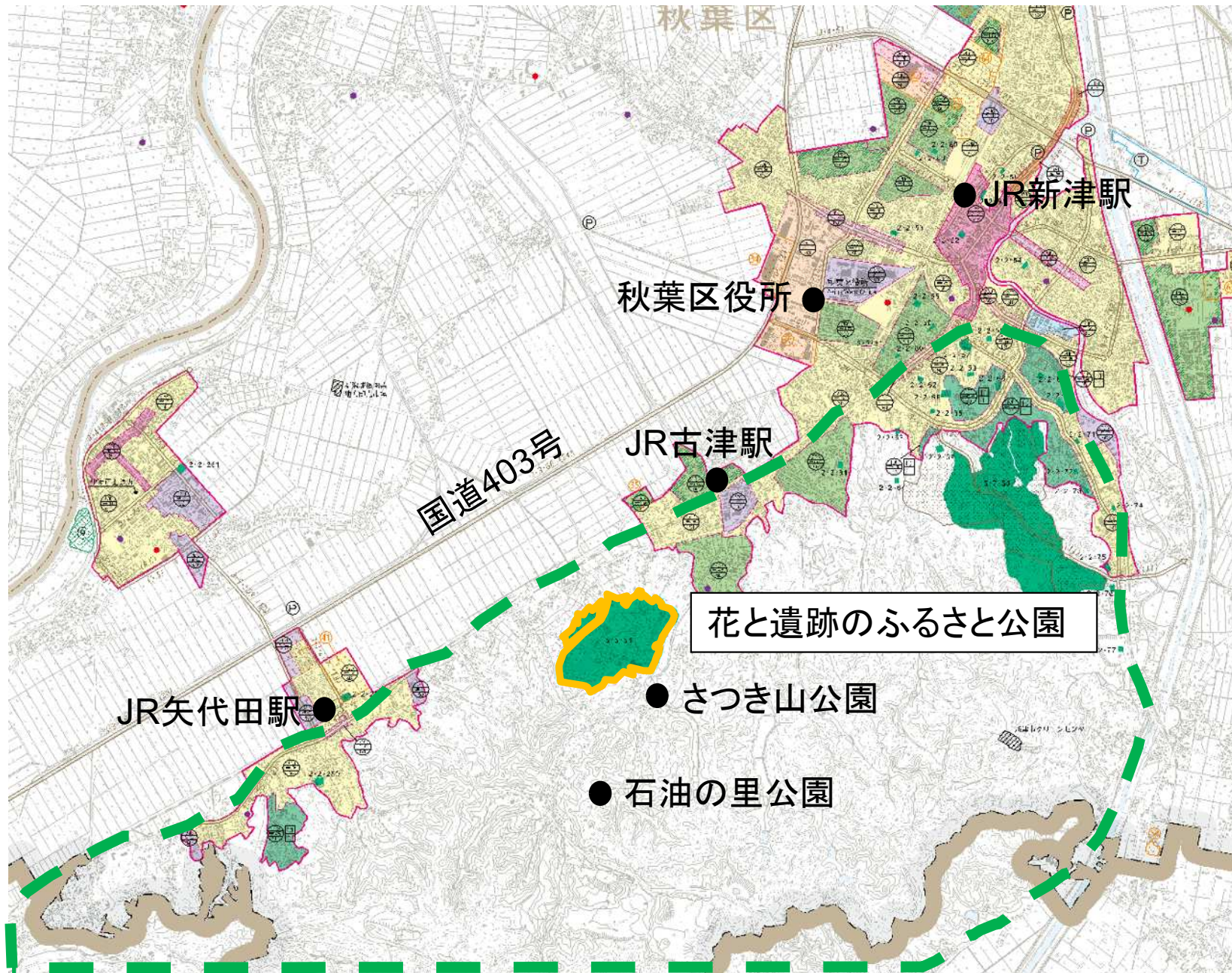
都市計画公園中 5・5・5 1 花と遺跡のふるさと公園を
次のとおり変更する。

種 別	名 称		位 置	面 積
	番 号	公 園 名		
総合公園	5・5・5 1	花と遺跡の ふるさと公園	新潟市秋葉区 古津地内	約 4 3. 0 ヘクタール

都市計画の体系／都市施設



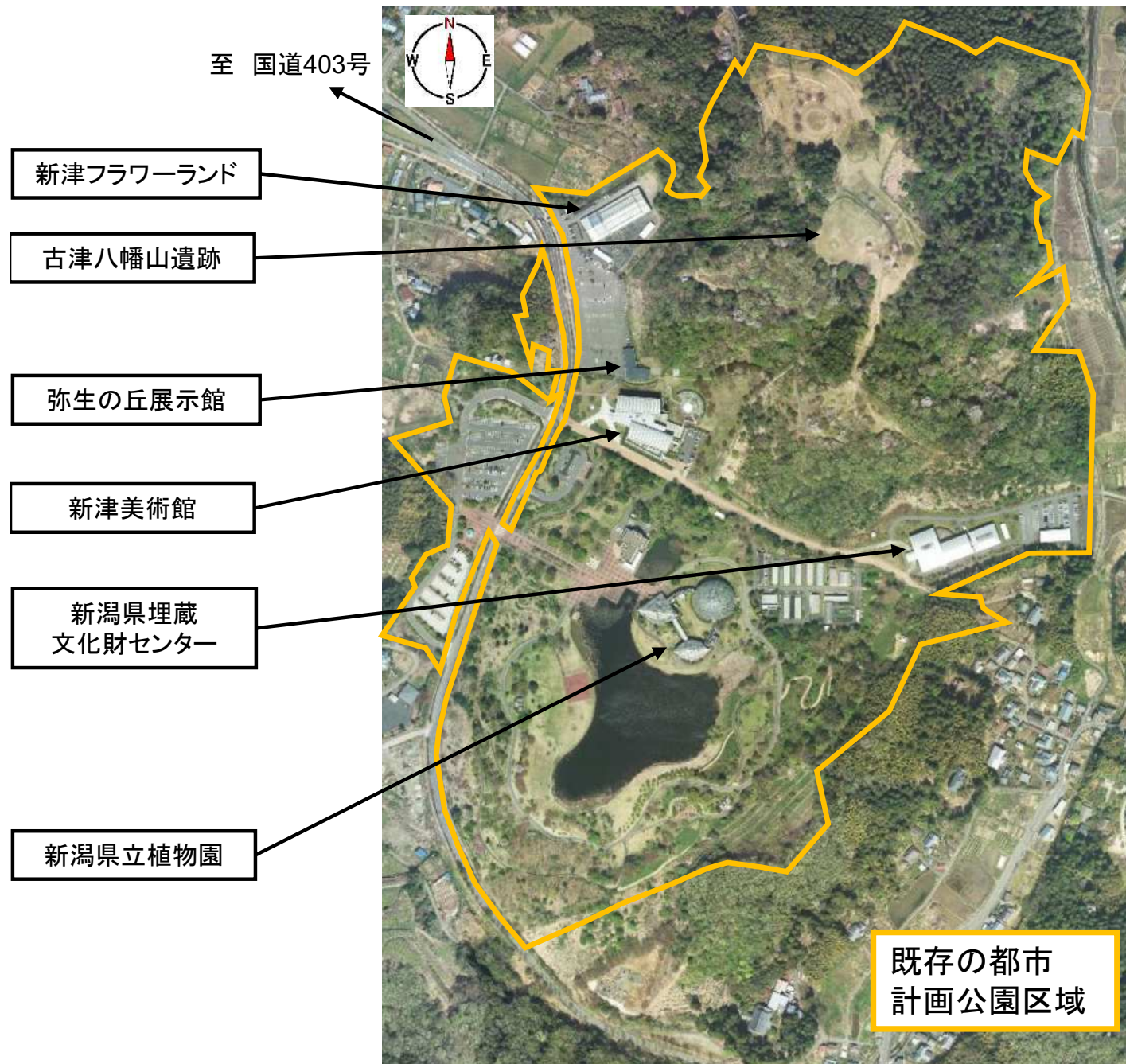
花と遺跡のふるさと公園の位置について



既存の都市
計画公園区域

新津丘陵

花と遺跡のふるさと公園の概要について



【名称】
花と遺跡の
ふるさと公園

【面積】
約43.0ha

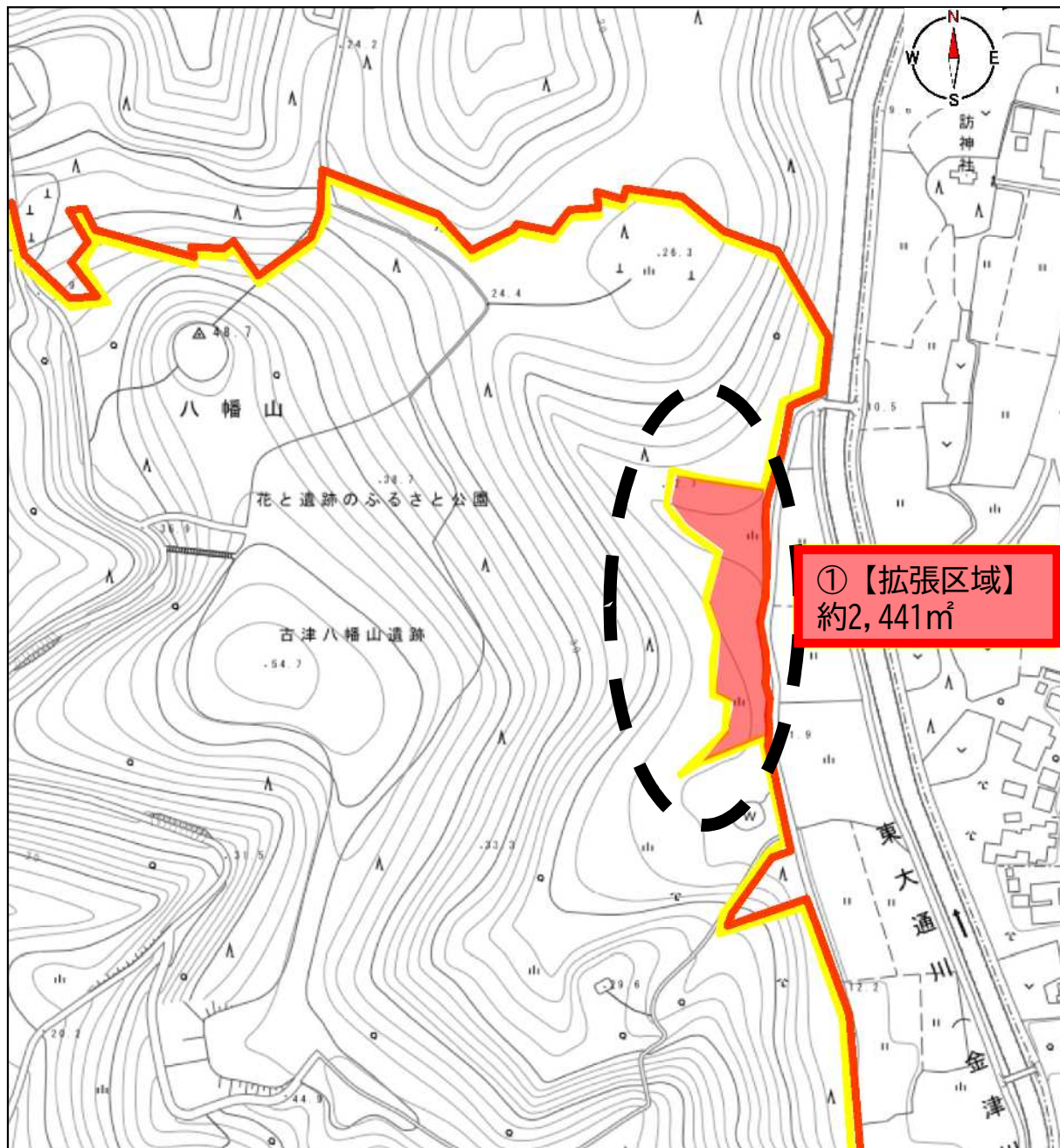
【都市計画決定】
平成7年8月

【公園供用開始】
平成8年3月

新津丘陵の遊歩道



拡張区域の位置



【拡張区域】

(赤色)

東側に隣接する区域
約0.24ha

■ 拡張区域の現況写真
(北側から南側を撮影)



各種計画での位置づけ(拡張区域)

□合併前の新津市時代から、新津丘陵に点在する公園や観光スポットを結ぶように遊歩道等などを整備。

○新潟市都市計画基本方針

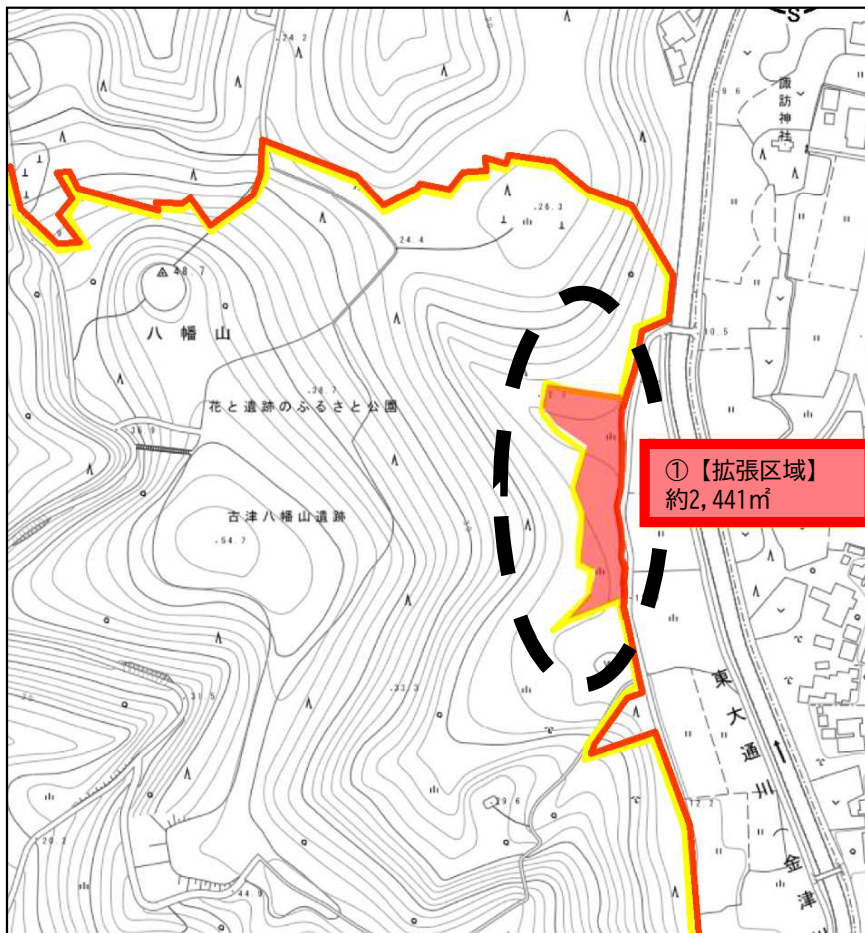
- ・ **公園・散策路・道路空間などの公共空間**や水辺空間など、地域において潤いを感じることのできる空間を創出するとともにそれらの**ネットワークにより、回遊性を高める**
- ・ 新津丘陵を文化、学術、観光の拠点に位置付け、**遺跡や石油、文化遺産、植物園などの教養施設や遊歩道を活用し、里山としての拠点性を高める**

○新潟市みどりの基本計画

- ・ **水と緑のネットワークの形成**
新潟の特徴的な水辺や丘陵、農地などの緑の連携を推進する

計画変更の内容(拡張区域)

約0.24ヘクタールを新たに拡張し、
公園としての公共空間を適正に管理するとともに、
遊歩道などの利便性向上により回遊性を高めることで、
広域的なレクリエーションの拠点として、機能の維持・充実を目指す



除外区域の位置

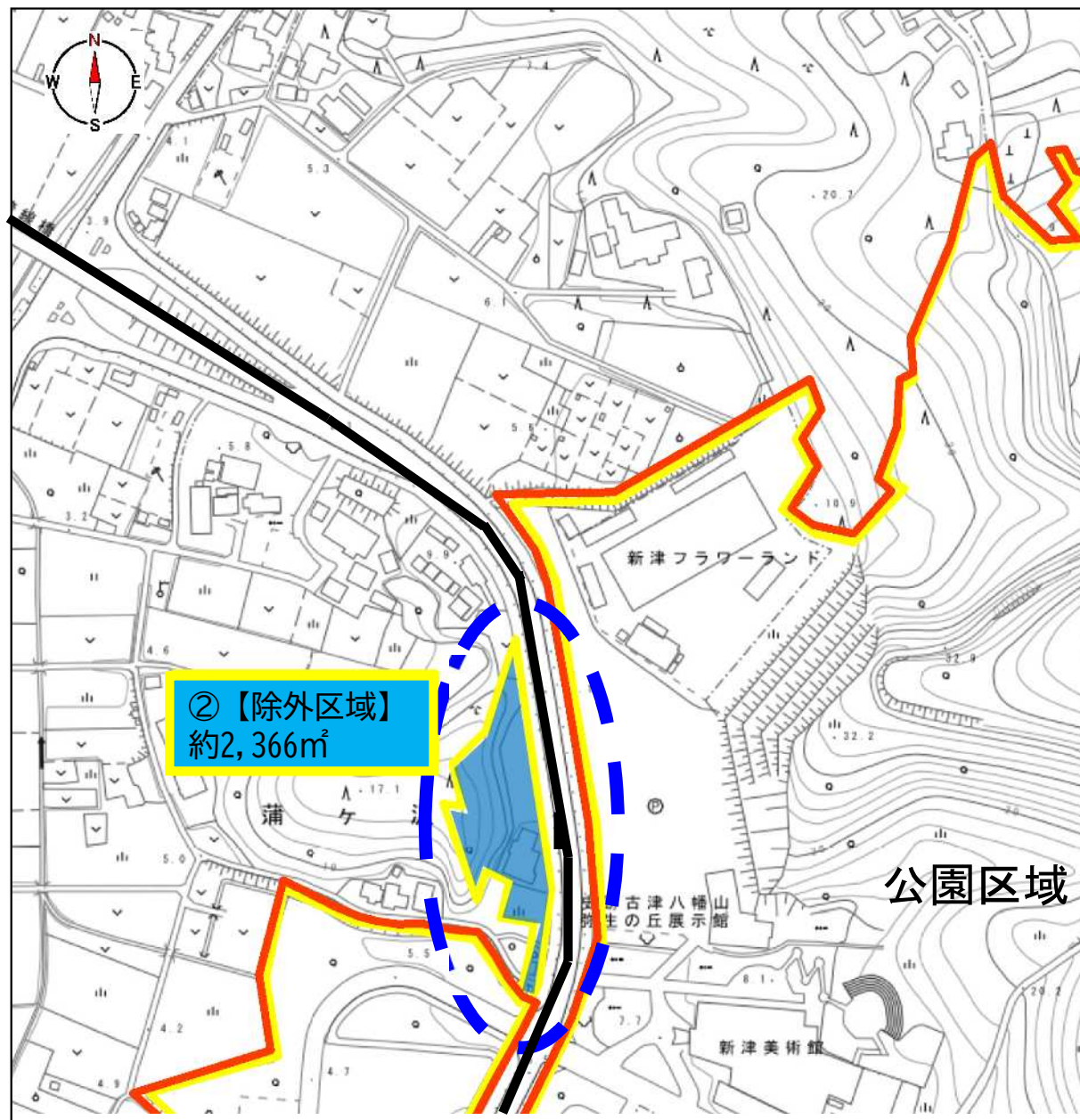
【除外区域】

(青色)

北西部の一部区域

約0.24ha

新潟市道



除外区域の概要

- ・除外区域内には平成9年に休憩施設を設置
- ・休憩施設の利用者減少に伴い、新津美術館来場者の託児所やレンタサイクル拠点などで利用を図ったが利用少
- ・老朽化も進み、この10年ほど利用されていない状況

■ 除外区域内の休憩施設
(南側から北側を撮影)



各種計画での位置づけ(除外区域)

○新潟市財産経営推進計画

- ・ 公共施設等の集約化や統廃合などを行う際に生じる跡地は、原則売却し、財源を確保
- ・ 未利用資産の売却や貸付、国からの補助金など財政支援の活用、使用料の見直しなど市の歳入を増やす方策を検討

代替となる休憩施設

公園内では、平成24年に設置された無料施設「弥生の丘展示館」内の休憩スペースのほか東屋やベンチの充足など**代替となる休憩施設は十分に確保されている状況**



計画変更の内容(除外区域)

民間用地としての活用が土地の有効活用に資するものと判断し、
約0.24ヘクタールの区域を除外し、
都市公園の持続的かつ効率的な維持管理を図る



新旧対照表

名 称	種 別	面 積		変更内容
		変更前	変更後	
花と遺跡の ふるさと公園	総合 公園	約 4 3 . 0 ヘクタール	約 4 3 . 0 ヘクタール	区域及び 面積の変更

変更前: 430, 344m²

変更後: 430, 419m²

※75m²増加ですが、表記上は変更なし

都市計画の手続きについて

R6. 12. 9 ~

関係機関協議・調整

R7. 9. 22 ~10. 6

都市計画素案の縦覧

意見書の提出なし

R7. 10. 21 ~11. 14

新潟県意見照会

支障なし

R7. 11. 21 ~12. 5

都市計画案の縦覧

意見書の提出なし

R8. 1. 16

【本日】 新潟市都市計画審議会

R8. 1月下旬

【予定】 県知事協議

R8. 2月中旬

【予定】 都市計画決定